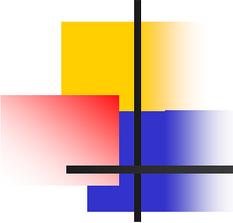


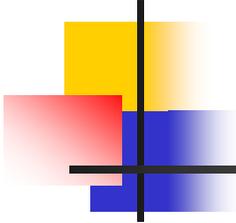
非国家主体に対する輸出管理 - Dual useアイテム管理の今後

平井進



CoComのdual-useアイテム規制

- 冷戦時代のソ連・中国は科学技術力と資力のある体制であり、それを基礎として軍事力が形成されていた。
- CoCom規制はソ連・中国の科学技術力の向上に西側の技術が利用されないようにするためにあった。
規制対象は兵器関連と高度インフラ技術。
- 兵器はソ連・中国には輸出されなかった。



Wassenaarの先端技術規制例

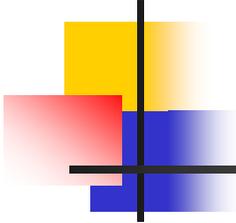
CoComと規制リストは同様。(以下は省令)

- 人工衛星(12条4号)
- 宇宙で使用する集積回路(6条1号イ)
- 宇宙での核爆発で妨害されない通信装置(8条1号)
- 海底敷設用の光ファイバー通信ケーブル(8条4号)
- 半導体製造装置(6条17号)

Wassenaarのdual-use規制

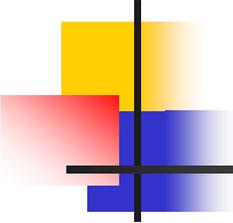
アイテム例

- デジタルVTR(8条9号ロ・ニ)
デジタル転送速度が360Mb/s超(民生規格用を除く)
計測用に変換できるものも規制 データ計測が目的
- GaAsレーザー(9条10号ロ)
波長 $1.51\ \mu\text{m}$ 以下、平均出力1.5W超
波長 $1.51\ \mu\text{m}$ 超、平均出力0.5W超
石英光ファイバーの長距離通信用。 $1.55\ \mu\text{m}$ 帯は減衰が最小
CD・DVD(含次世代)用の波長は $0.4\sim 0.8\ \mu\text{m}$
(固体レーザーのピーク出力は5ギガW超 ビーム兵器?)



内戦組織・テロリスト組織への規制

- 使用されているのは科学技術力を要さない小型兵器等。
- 中古兵器の再輸出が多い。
- 兵器供給と資金の管理が重要。
- 高度の科学技術インフラ用のdual-use規制アイテムは使用されるのか？



Dual-useアイテム関連の課題

- 内戦地域：戦闘主体が利用する規制アイテムの整理
- 制裁リストの組織・人：(規制アイテムは特定されないであろう)
- 通常兵器の設計・製造・使用に関する
キャッチオール規制：兵器との関係が民生企業に分かるか？